

泌尿器科に、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 間質性膀胱炎患者の膀胱組織における遺伝子発現と炎症アンプの活性化及び尿検体における炎症アンプ関連蛋白についての解析

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 橋田 岳也 (泌尿器科・講師)

[研究の目的] 間質性膀胱炎は、膀胱の慢性的な炎症にともない頻尿・尿意切迫感・膀胱痛などの症状が起こる難治性の病気です。発症の原因は現在でも不明なことが多く、明確な診断基準がないのが現状です。この研究では、炎症を悪化させている分子の活性化状態などを調べ、この病気の発症のメカニズムや有効な治療方法の向上に役立てることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

①間質性膀胱炎の患者さんで、2002 年 1 月以降に膀胱生検を行った際に研究用の組織検体の保管に同意された方

②膀胱がんの患者さんで 2002 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日の間に、膀胱生検または膀胱手術を行った際に研究用の組織検体の保管に同意された方

※膀胱がんの患者さんは、間質性膀胱炎の患者さんの膀胱組織との違いを比較検討するため、がんではない正常な部分の組織を利用させていただきます

○利用する検体・カルテ情報

検体：膀胱生検、膀胱手術時の組織の一部

カルテ情報：(※間質性膀胱炎の患者さん 1) ~6) まで、膀胱がんの患者さん 1) 4) のみ)

- 1) 年齢、性別、診断名、診断日、既往歴
- 2) 間質性膀胱炎に対して行われた治療内容
- 3) 尿検査結果
- 4) 膀胱生検の病理結果
- 5) 服薬状況 (間質性膀胱炎に対して処方された内服薬の内訳について)
- 6) 臨床症状、予後

[研究実施期間] 実施許可日～2021年9月30日（登録締切日：2021年3月31日）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院泌尿器科 担当医師 橘田 岳也

電話 011-716-1161